

2. 開発の背景

JR北海道の鉄道線区・・・営業キロ 約2,500km

うち約800kmが輸送密度500人/日未満

(参考:南阿蘇鉄道 480人/日(平成17年度))



地方線区対策

- ・ワンマン化
- ・一部駅業務の委託
- ・運輸営業所新設
- ・バス転換



3. 開発のコンセプト

目的: 鉄道としての存続を図ること



コストダウン

- ・既存のマイクロバスを活用した初期費用(車両価格)の抑制
- ・小型・軽量化によるランニングコスト削減
- ・レール等既存インフラの有効活用